

| (公財) 香川銀行青少年育成支援財団 Kagawa Bank Youth Development Support Foundation | |
|--|--|
| 住所 | 760-8576 高松市亀井町6番地1 |
| 電話番号 / FAX番号 | (087) 812-5132 / FAX (087) 837-8870 |
| 代表者 | 理事長 近石 政義 |
| 実務担当者 | 事務局長 吉峰 幸久 |
| 連絡先 | (087) 812-5132 |
| 設立年月日 | 1989年3月29日 |
| 構成員数 | — |
| ホームページ | https://www.kagawabank.co.jp/about/chiiki/zaidan.html |
| E-mail | kagawabk_y-sprt.fd03@blue.ocn.ne.jp |
| 活動対象国 | オーストラリア |
| 国内の主な関連団体 | 香川県、高松市、(公財)香川県国際交流協会、(公財)高松市国際交流協会、独立行政法人国際協力機構四国支部 |
| 外国の姉妹・友好団体 | オーストラリアタスマニア州ホバートカレッジ、プロスペクトハイスクール |
| 刊行物 | 高校生オーストラリアタスマニア派遣事業報告書 |
| 備考 | — |
| 設立目的 | 当初の設立目的は「地域と海外との交流促進に寄与し、地域の将来を担う国際社会に通用する人材を育成すること」である。 また、令和4年4月からは目的を、国際交流だけでなく教育、スポーツ及び音楽など、青少年の健全育成を様々な角度から支援することにより、より多くの青少年が豊かな人間性を涵養することができるよう青少年の健全育成事業を追加した。 |
| 構成員資格 | — |
| 活動の特徴 | <p>青少年の国際交流事業・高校生オーストラリア派遣事業に関しては、作文及び面接試験の総合点により選出された高校生と引率者をタスマニア州の高校へ派遣。現地では、ホームステイをしながら、授業に参加して実際の授業を受けたり、小学校などを訪問して日本の文化や香川県を紹介する活動をしている。また史跡や社会教育施設等を見学して相互理解の増進と友好親善に努めている。</p> <p>・オリープ杯中学生英語スピーチコンテストに関しては、国際交流の基礎となる英語表現能力の向上を推進し、将来、国際人として活躍できる人材の育成を目的として、香川県内の中学校に在籍する生徒を対象として開催している。優勝者には、理事長名のオリープ杯と副賞を、準優勝者2名及び優秀者3名には楯と副賞を授与。</p> <p>・国際理解のための高校生英語スピーチコンテスト開催事業に関しては、国際社会に通用する英語表現能力の向上と高等学校における国際理解教育の一層の振興を目的として、香川県内の高等学校の1～2年生を対象として開催している。本財団と香川県高等学校教育研究会国際教育部会並びに独立行政法人国際協力機構四国支部が共催する。なお、このコンテストの入賞者は、次年度に本財団が実施する高校生オーストラリアタスマニア派遣事業の応募者として在籍高等学校から推薦があったときは、その成績を団員選考時の参考とする。</p> <p>・オーストラリアタスマニア州高校生招致事業に関しては、香川県とオーストラリアタスマニア州の相互理解を一層深めるため、平成4年度から隔年でタスマニア州の高校生を招致している。県内の高等学校の協力を得て、県内高校生とタスマニア高校生の交流事業を実施したり、香川の地場産業の工場見学や県内の観光地視察、香川の食文化体験などを通して各界各層の県民との交流を深める活動である。</p> |
| 主な国際交流国際協力活動 | <p>青少年の健全育成支援事業</p> <p>1 趣旨(目的)</p> <p>近年、長寿化や働き方の多様化等、社会経済情勢が大きく変化し、個人の資産管理や資産形成が重要になってきている。このような環境の中、令和4年度から高等学校の授業に「資産形成」等の金融教育が導入される等、青少年への金融教育の必要性が高まってきている。このため、金融の専門家である金融機関が、小学校、中学校、高等学校等に出向いて出前講座をすることで学校の取り組みを支援する事業を実施する。また、ハンドボール競技の普及啓発活動を通して青少年の心身の健康とスポーツ精神の高揚を図ると共に、地域社会との連携を深め、香川県のスポーツの発展に寄与する。さらに、音楽活動を通して、豊かな人間性を涵養し、青少年の健全な育成を図ると共に、地域社会との連携を深め、香川の芸術・文化の発展に寄与することを目的とする。</p> |
| その他の情報 | |